

2008年度NPO法人びーのびーの活動報告・会計報告

[2 拠点]

★子育て支援施設「おやこの広場びーのびーの菊名ひろば」(横浜市社会福祉協議会 親と子のつどいの広場事業)
ひろばに関わるすべての人が同じ方向性でひろばづくりをしていけるよう、話し合いの機会を多く持ち、また曜日担当スタッフが力をつけていけるように研修の機会も持つように努めました。当事者である親たちがやりたいことを子どもとともにやれる範囲で形にし、スタッフはそのフォローに回るようにしたところ、親子ボランティアを中心に預かりあいスタートするなどユニークな試みも生まれました。減少傾向だった学生ボランティアも、ひろばで研修を行うことによって、夏休みには多くの学生ボランティアが訪れてくれて、大いに活気付ききました。

★港北区地域子育て支援拠点「どろっぴ」

- ・4年目の運営にあたり、港北区ではじめて子どもを持った家族の方々がまずは地域の足がかりを得る場として、様々な人との関係性の中で育まれる子育てをよりぐたいきメッセージとして発信できるよう努めてきました。
- ・3回連続のパパプログラムやウエルカム港北、ミニ保育園座談会、感染症講座、双子の赤ちゃん会などを実施しました。
- ・子育て情報の提供として、ボランティアミニひろばを月1回新しく始めました。
- ・ネットワークの「公園分科会」は太尾第二公園での公園あそびを年7回実施。どろっぴ net ほいっぴの企画で衣服交換会「Changeし隊」を開催しました。
- ・港北区社会福祉協議会と連携してボランティア体験講座「ボラリーグ☆こうほく」の運営、実施。県立港北高校家庭科クラブと連携して交流を図っています。

[5 事業]

★グループ保育「ゆーのびーの」

妙連寺の拠点から菊名ひろばに活動の場を移して1年目の活動でした。水曜日9時30分～13時で、グループ保育を実施。同年齢の子ども同士のような関係性を育み、公園などの地域資源を活用しながら泥んこ遊びなど、自然を感じる事の出来る遊びを展開。保護者の保育参加やお手伝いをいただきながら行いました。親支援の視点も大事に親同士の支えあいを生みつつ、商店街や近隣、またひろば利用者からも理解を深めながら実施しました。

★わくわく子育てサポーター事業

学生ボランティアが子育て家庭を訪問し、乳幼児家庭のお手伝いに参加する活動を中心に、活動前の研修や地域の学校や保護者との連携の体制作り、学生ボランティアの活動推進のための場づくりをしてきました。異世代交流の場を子育てひろばに作り出すことで縦の関係作り、顔の見える関係作りに寄与してきました。平成17年度から19年度までの3年間の市民活力推進局協働事業提案制度モデル事業を終了し、20年度は法人自主事業として継続しました。

★港北区子育て応援マップ ココマップの運営

平成17年度から継続事業として、子育て情報に特化した情報提供の一元化を目指すべく、子育て応援サイトとして運営してきました。現在編集委員21名、ネットスタッフ8名の登録。月に一度編集会議を行い情報交換のサイト運営を行っています。ココめる編集会議にも参加し、それぞれの特性を生かして情報発信などの連携を強めていきます。また、2年ぶりに紙版ココマップが改定。3月末より区内各所で配布されています。

★2009年度入園版「びーのびーの幼稚園・保育園ガイド」発行

9冊目となるガイド発行事業。発売前からの問合せ、近隣書店からの注文なども増え、利用者のニーズが年々高くなってきていることを実感しました。

★菊名WARA・びー実行委員会 (文部科学省「学びあい・支えあい」地域活性化推進事業)

港北区の歴史に詳しい講師を招いて、親子で町歩きを開催。菊名地区の住民に働きかけて、夏の時期打ち水大作戦を展開、環境問題についても若い子育て家庭に関心を持ってもらい、併せて新・旧住民が交流を図る機会とすることが出来ました。そのほかに地域の講師(お茶、アート、ボードゲーム、座禅、化学実験)による講座も親子が交流できる場づくりに寄与し、商店街協力のおこなった親子フリーマーケットなども、地域の大人たちが交流できる仕掛けづくりとなりました。

《法人事務局》2拠点5事業その他の事業の要として、それぞれの事務担当、事業担当、会計担当らとの連携を密にし、法人全体のマネジメント支援を事務部門として補完。単独事業としての会計・財務面での切り分け整備を実践。
《その他の活動》

- 企業とNPO「子育て支援協働事業」創出ネットワーク事業—企業とNPOとの協働・連携による子育て家庭への支援を企画し、実践にむけての意見交換会の実施(3回)
- NPO法人子育てひろば全国協議会「子育てひろば立ち上げ支援セミナー」東京開催
- 法人独自インターンシップ1名受け入れ。
- 地域交流事業①らくらく市②区民まつり③港北図書館おはなし会への参加等(絵本の会)④菊名西口商店街行事支援ほか。
- ネットワーク事業①心のバリアフリーを考える大倉山・市民の会②らくらくネットワーク③神奈川子ども未来ファンド④ニッポン・アクティブライフ・クラブ東横浜⑤よこはま一万人子育てフォーラム⑥神奈川子育てネットワーク⑦にっぽん子育て応援団⑧政策の創造と協働のための横浜会議
- 各種研修への参画
- 講演会、委員会への参加
- 情報発信事業—広報紙「びーのびーの通信」の発行(月刊)、トレッサ横浜委託事業—トレッサ横浜 HP 内ブログ・べんりガイドの制作

◆2008年度収支計算書(2008.4.1~2009.3.31) 単位(円)

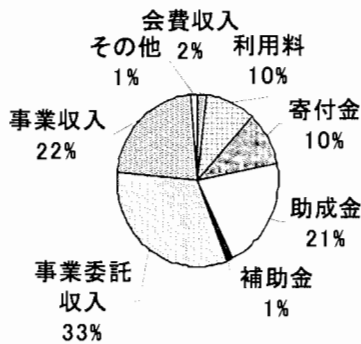
収入の部

会費収入	347,000
利用料	2,140,290
寄付金	2,096,300
助成金	4,495,000
補助金	250,000
事業委託収入	6,831,030
事業収入	4,711,777
その他	305,397
収入合計	21,176,794

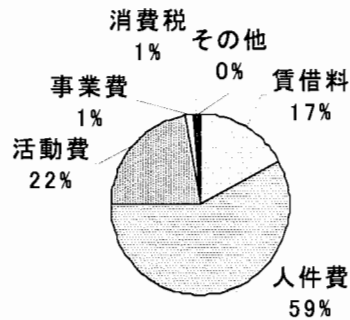
支出の部

賃借料	3,353,100
人件費	11,348,872
活動費	4,323,371
事業費	292,716
消費税	232,443
その他	32,246
支出合計	19,582,748
収支差益	1,594,046

収入の部



支出の部



◆2008年度 ボランティア活動実績

活動場所		活動時間	延人数
ビーのビーの	一般ボランティア	904 時間	264 人
	学生ボランティア	739 時間	264 人
どろっぷ	一般ボランティア	1,493 時間	470 人
	学生ボランティア	972 時間	248 人
総計		4,108 時間	1,246 人

【年間総計】

- 一般ボランティア
2,397 時間 延べ 734 人
- 学生ボランティア
1,711 時間 延べ 512 人

◆あたたかいご支援ありがとうございました

会費のほかに 2008 年度協力金頂いた方々の名称 (ビーのビーのスタッフ・ボランティアを除く/敬称略)

《2008 年度》

安達浩・池本直美・川島敏子・小嶋靖子・佐藤典美・志田悦子・鈴木篤茂・(有)セルフィッシュ・妹尾信二・竹原和泉・千葉勝恵・土谷みち子・堤桂子・綱島本通・(株)トヨタオートモールクリエイト・徳田亜矢・成迫真貴・野澤組・服部正絵・太尾こどもクリニック・古尾谷努・古田直文・堀聡子・牧野カツコ・武藤啓司・山口素夫・山田麗子・山本雅輝
よねもと耳鼻咽喉科・横山弘美・綿引幸代 (五十音順)

《2009 年度》

安達浩・チロル幼稚園

2009 年 5 月 28 日現在

2008 年度寄付を頂いた方々の名称(敬称略)

西島康子・横田和恵・古寺ちひろ・2007 年ゆーのビーの卒業生 (五十音順)